

- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二はんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくの二きようめをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも二はんめのマスから書き、あたまをさかえましよう。

（ ） 月 日 曜日

ふりつづく雨の屋久杉ランド

安房小学校三年 中島 望海

のんちゃんあぶない。

とお友だちがさけびました。

わたしは、屋久杉ランドにのぼってころび
 そうになつたのです。30分コースのはずが、
 もうすでに一時間半い上たっています。カッ
 パをきいてても、ふりつづく雨でせなかは、
 びしょりになりました。まだ朝のはずなの
 に、林の中は夕方のようでした。

手すりをたよりに歩いていたのに、と中か
 ら手すりなくなつていて、横に生えている
 木や枝を支えに歩きました。木のみきが人の
 手に見えたり、虫食いの葉っぱは、人の顔に
 見えたりしました。しずけさがぎやくにこわ
 かつたです。

それから、歩きやすかつた道やかいだんが、
 いつの間にか木のみきやごろした石にか
 あつています。気をつけないとまたつると
 すべつてしまひそうです。だからわたしは、

4、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一きようめに、学年・学校・組・名または二きようめに書き、文しよは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくの二にきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをさるえましよう。

() 月 日 曜日

足のうらにかをこめて歩きました。

と中にあつたはしは、支えるワイヤーが細くて、ぐらぐらゆれるので、走ってきりぬけました。心ぞうがドキドキしました。

む中で歩いてるうちに、こわい気持ちはずすれていきました。気づいたらわたしが一番歩くのが早くて、お友だちのお母さんが、「のんちゃんはガイドさんみたいだね。」と言われたので、少してれました。まわりを見わたすと、雨にうたれて葉っぱ

が生き生きとしていました。

雨の日の屋久杉ランドは、晴れの日とは大ちがいでした。晴れの日に聞こえていた小鳥たちの声は聞こえません。林の中はうつそうとしげって、なんだかひっそりとしていました。こもれびがキラキラとしている晴れの日とは、ずいぶんいんしようがちがう様子におどろきました。

すべってころびそうになり、通りぬけできない道に入ってまよったり、ハプニング

- 4 と、は、それぞれ一字にぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいまくは、二きようめに、学年・学校・組・名または二きようめに書き、文しようは三きようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくして三きようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

(月 日 曜日)

はたくさんありました。が、ぶいに帰れてほ
としたわたくしです。

自ぜんゆたかな屋久杉ランドが近くにあっ
てうれいのです。

晴れの日だけではなく、雨のふる日の屋久
杉ランドもとてもすてきでした。

みなさんもぜひ、行って見てください。

(不許複製)

- 4 と、は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましょう。

